

令和2年度 進路状況

コロナ禍の中で、応募前職場見学や面接、筆記試験、実技試験、オープンキャンパスなど、インターネットを使ったりリモート方式が多岐に渡って導入された年でした。今回の進路だよりでは、今年の特徴を「就職」「公務員」「進学」に分けて紹介していきます。

- 【就職】
- ・就職日程の後ろ倒し（9月16日から10月16日へ）
→求人票の到着は7月1日と例年どおりだったため、就職先を選ぶ時間が例年より増えた。
 - ・リモートの導入（面接・テスト・実技・応募前職場見学）
→事前に練習はしていたが、初めてのことで戸惑うこともあった。
 - ・熊本地区や九州以内への希望の増加（表1・図1）

表1 令和2年度の就職内定状況

	関東	中京	関西	中国四国	九州	熊本	人吉球磨	計
男	27	32	10	3	22	21	8	123
女	2	2	4	1	2	7	1	19
小計	29	34	14	4	24	28	9	142

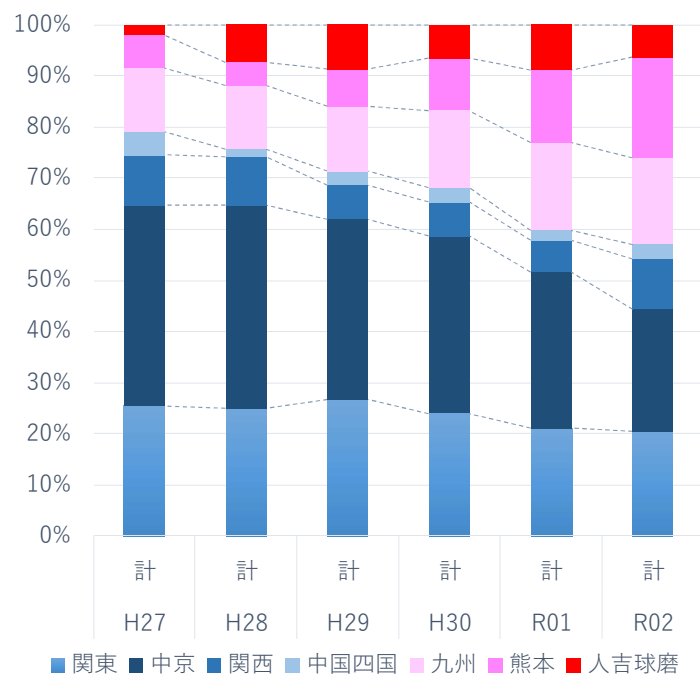


図1 就職先の地区毎の推移

- 【公務員】
- ・難易度が高いとされる一般行政事務などへの合格
 - ・多くの自衛隊志願（自然災害も影響か）
- 【進学】
- ・大分大学や有明高专などの国立の上級学校への合格
 - ・経済学部・経営学部経営学科など文系の上級学校への合格
→工業分野も経済/経営も横断的に理解でき、多様化する社会へ貢献できる人材を目指せる

【まとめ】求人票の数は、全体としては昨年より3割弱ほど減りましたが（2,777人→2,026人）、建設業・製造業・電気業など、本校に関連の深い業種や事業所への影響はありませんでした。今回の景気の動向については、工業高校の進路先の強さが見られました。

一方で、「不景気の影響は次の年に現れる」とも言われます。油断することなく、自分のできることは何か、日々の生活からしっかり見直し、目標に向かって進む必要があります。

【来年度に向けて注意する点】

- ・**やはり学力は大切**（内定のボーダーラインが上昇している）
 - ・**発言できる力を持つ**（面接や集団討論でのアピール不足や発言無しは評価の対象にならない。日頃から自分の考えを持つことが重要）
 - ・**度胸が大事**（普段元気いっぱいでも、当日に元気が出せないと伝わらない。日頃から人前で発言を）
- 景気の動向が不透明な中、企業が求めるのは「自分で解決しようとす
る力を持つ人材」です。だから**主体性**がなかったり、**自分を表現**できなかったりする人は求められない。単純な作業なら、今後ロボットやAIが担当する。ロボットやAIにできないことをするのが人間です。「求められる人材」を目指し、「具体的な目標」を持って、限られた学校生活を過ごしましょう。

※決定先の具体的な会社名や学校名などは本校ホームページより確認して下さい

インターンシップお世話になりました

管内事業所56社、管外事業所6社にお世話になりました。インターンシップは、日頃体験することができない実際の現場での作業をさせていただきました。

- 【体験内容】
- ・ドローン操作体験
 - ・重機に乗った
 - ・ダイナマイト発破見学
 - ・CAD
 - ・模型づくり
 - ・墨出し
 - ・プログラム実習
 - ・MC切削
 - ・三次元測定
 - ・機械加工業務
 - ・プレス加工
 - ・溶接
 - ・ガス切断
 - ・ロボット操作
 - ・整備の見学
 - ・タイヤ交換
 - ・塗装
 - ・オイル交換
 - ・エンジン分解
 - ・精度教育
 - ・洗車
 - ・タイヤ空気入れ
 - ・インキ調合
 - ・染色
 - ・バリ取り
 - ・ヨーグルトの製造
 - ・高齢者の方の介護
 - ・値札付け

- 【学びが大きかったと思う内容】
- ・阿蘇大橋の架設現場を見てスケールの大きさを感じた。
 - ・時間いっぱい働くことや製品をよりよく作るための努力を知った。
 - ・基礎工事の現場で、地道ながら、とても重要で欠かせない大切な仕事だと分かった。
 - ・製造業の仕事でも、製造する人とその製造をする人が製造だけに集中できるようにアシストする人に別れていると知った。
 - ・普段触れない機械に触れたり使い方を知れて機械への興味が更に湧いた。
 - ・仕事は自分から探しに行かないと与えられないことを知った。
 - ・製品が消費者に届くまで、様々な検査があることを知った。
 - ・整備士さんの仕事に対する熱意を感じた。
 - ・技術面だけでなくコミュニケーションがしっかりしていて現場の雰囲気

- が良かった。
- ・仕事の8割は段取りが大切ということ。
- ・工事には複数の会社が携わっていて、その人達のコミュニケーションや連携があって初めて完成することが分かった。
- ・見ているものが全て正しいとは限らない。見慣れているものをもう一度見直していこうという言葉が今後に繋がると思った。
- ・お客様の信頼を裏切らないように丁寧に仕事をすることを学んだ。
- ・工具に番号を振って元の場所に戻したり、材料を整理整頓されていることや改善活動を行っていることから5Sの大切さを知ることができた。
- ・電柱の保全工事を実際に見せていただき、スケールの大きさを感じた。

多くの貴重な体験をさせていただきました。御協力いただいた事業所の皆様に深く御礼申し上げます。生徒の皆さんは、この体験を忘れないように、自己の進路実現に結びつけていきましょう。

雇用環境整備協会サイトに本校のOGが出演しています

熊本県雇用環境整備協会の「くまもとオシゴト探検」というサイトに、県内の様々な業種が紹介されています。

このサイトに、本校建設工学科を今年卒業した板崎さんが出演し、総合建設業の仕事や魅力、女性が働ける職場環境について、実際の仕事の様子を交えながら発信しています。本校OG活躍を下のURLから御覧ください。

建設工学科 OG の板崎さん

くまもとオシゴト探検 (<https://lets.kumanichi.com/oshigoto/>)

来月の進路の行事

- (1) 1月15日（金）進路トーク
3年生が各業種・校種50グループに分かれ、それぞれの進路決定までのプロセスやこれからのこと、会社や学校のことなどについて、2年生に直接話をする場です。
- (2) 1月15日（金）合格体験談
3年生の代表が1年生に合格体験談を分かりやすく伝えます。
- (3) 1月27日（水）第4回親と子で学ぶ県内事業所説明会
県内の優良事業所20社を学校にお迎えし、事業内容や地域貢献、地元で暮らすことなどについてお話しいただきます。多数の事業所が一度に集まる貴重な機会です。

※いずれの行事も、保護者の方々の参加も参加できます（特に（3）については、出欠票も配付します）。この機会に是非御参加下さい。御希望の際は、担任または進路指導部まで御連絡下さい。